

■2025 年度 事業計画 トライⅡ（生活介護）

はじめに	・それぞれの利用者さんが通所を始めてから年月が経過する中で、生活環境が大きく変わりつつある方が増えてきています。それに伴い施設内外で求められる対応も変化してきていると感じます。市内を中心とした福祉的、社会的環境にも視野を広げていきたいと考えています。
事業所の基本方針	・必要とされることが実感できる仲間同士の関係作りに努めます。 ・個別支援計画に基づいた支援を実施します。 ・個々の意思を尊重し、主体性が持てるようにします。 ・利用者、ご家族が相談しやすい関係を作ります。 ・障害福祉に関わる制度を学び、情報提供をし、行動します。 ・安心・安全・楽しい場所を目指します。
事業所運営	・注文状況や在庫により日々の予定を決定します。(クッキー作り、外販売、買い物、配達など) ・調理実習(月1回木曜) 絵画教室(講師:倉田氏/月1)・看護師訪問(岩元氏/月1)・実習生受け入れ・職員会議・職員研修・関係機関、団体との連携・健康診断・苦情解決委員会
利用者支援	・クッキー作りを仕事の基盤として取り組みます。 ・配達や買い物も地域生活の経験の場として大切にして仕事として取り組みます。 ・クッキー作り以外の活動(季節行事・体操・散歩・グループ外出)にも積極的に取り組みます。 ・販売や配達などを通して社会とのつながりを意識した取り組みをします。 ・グループホームでの生活や移動支援中の事などは、他事業所とも連携して日中の支援を活かした協力体制を取れるよう努めます。
今年度重点目標	・日中の支援を施設外の生活にも活かし繋げられるよう、関係機関と連携を図っていきます。 ・仲間同士の相乗効果(会話やコミュニケーションの拡充)に着目し個々の特性を活かせる活動内容や関りを工夫し支援していきます。 ・利用者さんの生活環境より知られるよう取り組みます。
活動計画	・仕事(クッキー作り) ・市内の行事への参加。(ふれあい運動会・みかん狩り他) ・季節を意識した行事の実施。(七夕・クリスマスなど) ・地域の祭りへの参加。(とうろう祭り) ※開催があれば ・日帰り旅行の実施。
作業・販売計画	・ご来店されるお客様やご新規でのご注文のお客様も増えてきているので、今までのスキルを活かしながら製造効率が上がるよう工夫していきます。

(豊かな生活)	・ 上記安定した工賃の確保及び、賞与の上昇を目指し、利用者さんの生活に役立てばよいと考えています。
その他 ・ 防災対策	・ 避難訓練を実施していくと共に、「171」緊急時伝言ダイアルの使い方をご家族とも共有します。 ・ 防災グッズ、特に食べ物・水の点検と、消費期限を管理して使用、試食などを実施します。
利用者の 状況	・ 男性 7 名・女性 4 名 26 歳～65 歳 ・ 新たにグループホームでの生活を始めた方が 2 名、移動支援の利用をし始めた方が 1 名おられます。ご本人方が新しい生活を受け入れるまでに課題が生じている様子もあります。 一方、慣れた日中の生活の中でも年齢や体調の変化から今までとは違った課題が生じることがあると感じられます。 例えば健康面では定期的な運動の機会が必要と感じられますが、クッキーの製造をしながらどう運動の機会を維持していくか。クッキーの製造量を増やし同様に負担が増すだけにならないためには、どんな工夫が必要なのかということが支援の課題です。
職員の 状況	常勤職員：2 名（男性） 非常勤職員 1 名（女性）※曜日により変動。 パート職員 4 名（女性）※曜日により変動。